






# 6月は畜産環境月間です

6月は雨天等が多く、畜産環境が悪化しやすい時期です  
問題発生を未然に防ぐため、「家畜排せつ物の処理及び利用の  
促進に関する法律」を遵守し、環境に配慮した経営を実践しよ  
う

## 管理方法に関する基準

- イ 家畜排せつ物は構造設備に関する基準に適合した管理施設で管理  
すること（床は不浸透資材、液状排せつ物は貯留槽設置等）
- ロ 管理施設の定期的な点検を行うこと 
- ハ 管理施設の床、覆い、側壁または槽に破損を確認したときは遅滞  
なく修繕を行うこと 
- ニ 送風装置等を設置している場合は維持管理を適切に行うこと 
- ホ 家畜排せつ物の年間の発生量、処理方法(譲渡・焼却・浄化处理等)、  
処理別の数量について 記録・保管を行うこと 



### 対象となる家畜と頭数

牛・馬	豚	鶏
10頭	100頭	2000羽
以上	以上	以上

お問い合わせやご相談は各市町、広域振興局、家畜保健衛生所まで

京都府丹後家畜保健衛生所  
与謝郡与謝野町字下山田616  
TEL 0772-43-1125  
FAX 0772-43-1124



## 令和\_\_\_\_年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

## 1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養頭数 (頭) ①	1頭当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ①	尿 ①	ふん ① (①×②)	尿 ① (①×③)	合計 ① (④+⑤)
搾乳牛		16.6	4.9			
乾乳牛		10.8	2.2			
未経産牛		10.8	2.2			
育成牛		6.5	2.4			
合計		-	-			

- 平均的な飼養頭数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均頭数等を用いる

## 2 処理の方法及び処理の方法別の割合

処理方法	割合	
	ふん	尿
① 自家処理し、自己の経営内で利用	割	割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	割
③ 浄化処理施設で処理	割	割
④ 焼却施設で処理	割	割
⑤ その他( ) ( )	割 割	割
合計	10割	10割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

- ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注3) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

## 令和\_\_年度 家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和\_\_年\_\_月\_\_日)

## 1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養頭数 (頭) ①	1頭当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①+②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
		肉用種2歳未満	6.5	2.4		
肉用種2歳以上	7.3	2.4				
乳用種	6.6	2.6				
合計	-	-				

- 平均的な飼養頭数は、2月1日現在の頭数又は当該年と前年の2月1日現在の平均頭数等を用いる。

## 2 処理の方法及び処理の方法別の割合

処理方法	割合	
	ふん	尿
① 自家処理し、自己の経営内で利用	割	割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割	割
③ 浄化処理施設で処理	割	割
④ 焼却施設で処理	割	割
⑤ その他( ) ( )	割 割	割
合計	10割	10割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

- ふん尿混合で処理を行っている場合は、固形物として処理している場合はふん、液状物として処理している場合は尿に記入する。

注3) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

## 令和 年度家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

## 1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養羽数 (千羽) ①	千羽当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
雛		21.5	-		-	
成鶏		49.6				
合計						

平均的な飼養羽数は、2月1日現在の羽数又は当該年と前年の2月1日現在の平均羽数等を用いる。

## 2 処理の方法及び処理の方法別の割合

処理方法	割合	
	ふ	ん
① 自家処理し、自己の経営内で利用		割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用		割
③ 焼却施設で処理		割
④ その他( ) ( )		割 割
合計		10 割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。

## 令和 年度家畜排せつ物の発生量等に関する記録

(記入日：令和 年 月 日)

## 1 年間の家畜排せつ物の発生量

(単位：t/年)

種類	平均的な飼養羽数 (千羽) ①	千羽当たり排せつ物量		1年当たり排せつ物量		
		ふん ②	尿 ③	ふん ④ (①×②)	尿 ⑤ (①×③)	合計 ⑥ (④+⑤)
ブロイラー		47.5	-		-	

注1) 平均的な飼養羽数は、2月1日現在の羽数又は当該年と前年の2月1日現在の平均羽数等を用いる。

## 2 処理の方法及び処理の方法別の割合

処理方法	割合
	ふん
① 自家処理し、自己の経営内で利用	割
② 自家又は経営外で処理し、経営外で利用	割
③ 焼却施設で処理	割
④ その他( ) ( )	割 割
合計	10割

注1) ②は、たい肥センター等の共同処理施設、耕種農家等に譲渡したものについて記入。

注2) 割合は、過去1年間の処理方法に基づいて記入する。